

## 2018 電気自動車エコラン競技大会 in SUGO 開催報告

8月11日、12日に宮城県村田町スポーツランドSUGOの国際レーシングコースで「2018 電気自動車エコラン競技大会 in SUGO」を、公益社団法人日本設計工学会東北支部、公益社団法人計測自動制御学会東北支部、そして国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校の共催で開催しました。

この大会は、今年で24回目となります。今年から、エコラン史上初の「自動運転部門」を開設しました。そして、出走はかありませんでしたが、岩手大学チームがステア・バイ・ワイヤの車両を開発してエコランへ挑戦してくれました。彼らに続く「自動運転部門」への挑戦を期待しております。



スタート直前

このエコラン競技大会は、次世代環境型自動車技術を究めるだけでなく、自動車産業で復興を目指す震災被災地東北において、自動車産業にかかわる人材の発掘と育成を目的とし、とくに、先端的次世代環境型自動車技術を体験できる意義のある大会です。

競技は、競技規定で指定された鉛バッテリー（公称 300Wh）をエネルギー源として、1周約 3.7km、70m の高低差、10%の長い上り坂を有するコースを2時間で何周回走行するかを競います。

本年も、自動車メーカー技術者チームをはじめ、大学・高校生チームに加え、小中学生チーム、合計35チームが集い、28チームが出走してレースが行われました。

11日、12日、両日とも天候に恵まれ、好成績が期待されました。



開会式後の集合写真



競技開始

オープンクラス優勝は

東郷アヒルエコパレーシングの「Pursuiter」： 周回数 27, 総合 1位  
 準優勝は、チームヨイショット!ミツバの「ULTIMATE TESLA'18」： 周回数 26, 総合 2位  
 第3位は、Team ENDLESS チームの「リボン Go!」： 周回数 24, 総合 3位



東郷アヒルエコパレーシング「Pursuiter」



チーム“ヨイショット!”ミツバ「ULTIMATE TESLA'18」



Team ENDLESS「リボン Go!」



オープンクラス表彰

東郷アヒルエコパレーシングは、3年目の挑戦で優勝を勝ち取りました。

大学部門優勝は

秋田県立大学 S.E.I.M.の「APU2018」： 周回数12, 総合13位  
第2位は、福島県立テクノアカデミー浜の「佐藤オーバージェット」： 周回数11, 総合16位  
第3位は、東北工業大学 田倉研究室の「Tohtech 2018」： 周回数11, 総合17位



秋田県立大学 S.E.I.M.「APU2018」



福島県立テクノアカデミー浜「佐藤オーバージェット」



東北工業大学 田倉研究室「Tohtech 2018」



大学部門表彰

ジュニアクラス優勝は

盛岡工業高校 自動車部の「Beluga 2号」： 周回数23, 総合4位  
準優勝は、仙台工業高等学校 定時制の「不撓不屈 04」： 周回数22, 総合5位  
第3位は、矢板高校 機械技術研究部の「ブルーインパルス 18-A」： 周回数22, 総合6位  
第4位は、盛岡工業高校 自動車部の「Beluga 1号」： 周回数21, 総合7位  
第5位は、会津北嶺高等学校の「北嶺号」： 周回数15, 総合8位  
第6位は、宮城県伊具高等学校 IGU-Bの「IGU-EVⅢ」： 周回数15, 総合9位



盛岡工業高校 自動車部「Beluga 2号」



仙台工業高等学校 定時制「不撓不屈 04」



矢板高校 機械技術研究部「ブルーインパルス 18-A」



盛岡工業高校 自動車部「Beluga 1号」



会津北嶺高等学校「北嶺号」



ジュニアクラス表彰

製作教室クラス優勝は、

ジュニアドクターA チームの「JE カー2018」:

周回数 12, 総合 14位

準優勝は、しろぱあきちチームの「はるちゃん号」:

周回数 7, 総合 21位



ジュニアドクターA チーム「JE カー2018」



しろぱあきちチーム「はるちゃん号」



製作教室クラス表彰

2012年から推奨している四輪部門は、参加35チーム中14チームが四輪車としてエントリーし、

優勝は、宮城県伊具高等学校 IGU-B の「IGU-EV III」：周回数 15，総合 9 位  
 準優勝は、宮城県伊具高等学校 IGU-A の「IGU-EV IV」：周回数 14，総合 10 位  
 第 3 位は、ジュニアドクターA チームの「JE カー2018」：周回数 12，総合 14 位



宮城県伊具高等学校 IGU-B 「IGU-EV III」



宮城県伊具高等学校 IGU-A 「IGU-EV IV」



四輪車部門表彰

本年から設けられたオールドクラス、このクラスでは、エコの観点から、昨年以前の支給バッテリーを用いて優秀な成績を残したチームを表彰しました。

仙台工業高等学校 定時制の「不撓不屈 ZERO」： 周回数 13，総合 11 位  
 茨城高専・EV チームの「NEW II」： 周回数 13，総合 12 位



仙台工業高等学校 定時制「不撓不屈 ZERO」



茨城高専・EV チーム「NEW II」



オールドクラス表彰

無冠の最上位チームへ贈られる計測自動制御学会東北支部特別賞 SICE 賞は、周回数 12、総合 15 位、オープン 5 位の Team DDW の「DDW185」へ贈賞されました。



Team DDW 「DDW185」



SICE 賞表彰

本大会にご共催、ご協賛いただいた団体は、(株)菅生、日本ケミコン(株)、(株)日本精工、宮城トヨタ自動車(株)、ソリッドワークス・ジャパン(株)、(株)ケーヒン、日本金属(株)、創造技研(株)、モバイルジャパン(株)、東北学院大学、東北工業大学、石巻専修大学、東北文化学園大学、キャパシタフォーラム、みちのく次世代自動車研究会、一般社団法人 電気学会東北支部、公益社団法人 日本設計工学会東北支部、公益社団法人 計測自動制御学会東北支部、国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校、加えて、特別協賛は古河電池(株)でした。多くの皆様からの多大なるご支援とご理解によって、今年も開催できましたことに、深く感謝申し上げます。

(文責、2018 電気自動車エコラン競技大会実行委員 大泉哲哉)